

取扱説明書

この度は、ナテック製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。ご使用前に本取扱説明書をお読みの上、正しくご使用下さい。お読みになった後は保管して下さいようお願い致します。

安全上のご注意

⚠ 警告 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

- 雷が鳴り始めたら設置したアンテナ・ケーブルには触らないで下さい。

⚠ 注意 下記事項は、無視して誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

- 落下させる、無理に折り曲げる、引っ張ったりするなど強い衝撃は与えないで下さい。
- 分解しないで下さい。
- 設置したアンテナ・ケーブル・金具・基台・マスト・ビス・ボルト等に異常・緩み等がないか定期的に点検して下さい。
- 異常があったら、すぐに電波の発射を中止して下さい。

使用上のご注意

- テレビ・ラジオ・他のアンテナからできるだけ離して下さい。
- アンテナ本体が壁、窓などに極端に近くなると、受信感度の悪化につながります。
- 通信先と偏波面を合わせてご使用下さい。
- 電波発射面に金属製ラベルを貼付けないで下さい。
- 接続する同軸ケーブルはできるだけ短いもので、必ず50Ωのものをご使用下さい。
- 垂直に立ててお使いください。
- アンテナコネクター部に必要以上の力が加わらないようにご使用下さい。
- 車載時は法定速度を守り、強風時や悪路では速度を落として下さい。
- 車載時は障害物に注意して下さい。
- 振動の少ない場所を選んで取り付けて下さい。

△ 電波を利用する機器ですので、不確実性が必ず伴います。ご理解の上ご使用頂くようお願い致します。

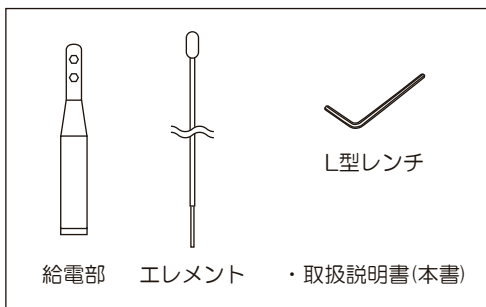
△ 万が一、故障・動作不良・誤動作等が原因で人命・財産等に損害があっても、当社はその責任を負うものではありません。

△ 本品を何らかのシステムや電子機器等に組込んだり、本来の用途以外でのご使用の場合、いかなる不具合・損害が生じても当社はその責任を負うものではありません。

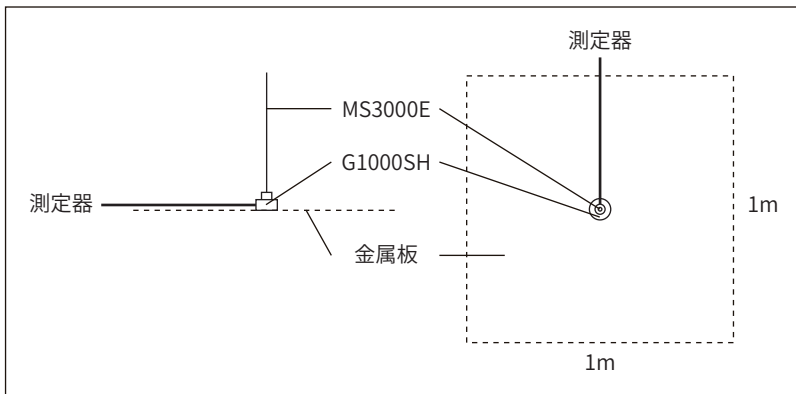
仕様

型名	MS3000E
周波数	142.93~146.99MHz 351MHz帯
空中線型式	142.93~146.99MHz：1/4λ 351MHz帯：1/2λ
利得	2.14dBi
入力インピーダンス	50Ω
耐入力	142.93~146.99MHz：25W 351MHz帯：10W
電圧定在波比	1.5以下
接栓	SMA-P
全長	約428mm
重量	約50g

構成



測定条件



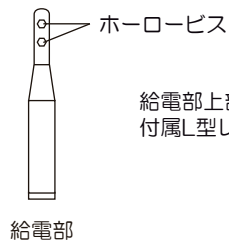
142.93~146.99MHzが空中線形式：1/4λとなり、設置環境により影響を大きく受けるので一定の条件にて測定をする
(電圧定在波比：1.5以下)

疑似筐体(1m角の金属板)中心に設置したマグネット基台G1000SHにMS3000Eを接続した状態で測定

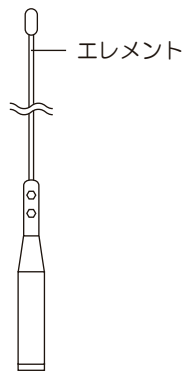
※疑似筐体周辺には障害物が無い状態

※同軸ケーブルは可能な限り直線にする

組立方法



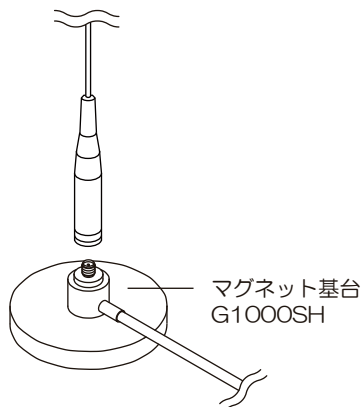
給電部上部2箇所
のホーロービスを
付属L型レンチで
緩める



エレメントを給電部に
挿入し、ホーロービス
2箇所を
付属L型レンチで
締め付ける

※エレメントは奥まで挿入して下さい
※ホーロービスは増し締めをし、必ずしっかり締め付けて下さい

使用方法



・142.93~146.99MHzはマグネット基台G1000SHに接続し、車のボディをGND(アース)として使うことを前提として設計されています。

・142.93~146.99MHzは1/4λ形式となりますので、設置環境により電圧定在波比(V.SWR)が下がらない場合があります。

※351MHzは1/2λとなります。

※同軸ケーブルの引き回し等でも影響があります。

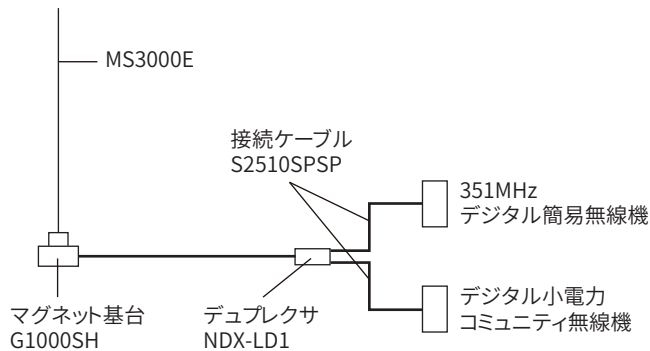
・マグネット基台G1000SHとの併用を推奨致します。

※G1000SHはSMA-J(アンテナ取付側)コネクタのシェルがステンレス製となります。

設置について

142.93~146.99MHzは1/4λ形式となっており、運用の際は高周波のGND(アース)が取れる場所に設置してご使用下さい。

接続例



※製品向上の為、外観・仕様は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。

※万一初期不良・破損等がございましたら、弊社までご連絡お願い致します。

※本書に掲載されている全ての情報に関する著作権は、株式会社ナテックに帰属します。

※本書の情報を弊社に無断で複製、転用、改変、送信、転載等することは禁止されています。

Ver.1.1